

議員発議による意見書の提出

■発議第7号

「放射性物質を含む汚泥処理についての意見書」

提出者：高澤 公 賛成者：田原 実

9月26日の本会議で可決し、環境大臣及び新潟県知事に意見書を提出しました。

■発議第8号及び第9号

「公立高校と私立高校の教育費負担の格差解消と私立高校の公費(私学助成)増額を求める意見書」

提出者：伊藤 文博 賛成者：斉木 勇

いずれも9月26日の本会議で可決し、発議第8号は内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・文部科学大臣及び衆議院議長・参議院議長に、発議第9号は新潟県知事に意見書を提出しました。

人権擁護委員候補者の推薦

現委員の任期満了に伴い、次の方が推薦されたので、適任と認め答申しました。

まさみ 恩田 正身 さん (大字能生・再任)

金子 由美子 さん (大字成沢・再任)

しょうこ 田中 唱子 さん (大字藤後・新任)



長野県大町市議の皆さんと北陸新幹線糸魚川駅を視察 (大町・糸魚川二市議会議員連絡協議会 7月27日)

質問

小・中学校でのいじめが大きな社会問題となつていますが、当市の現状はどうか。具体的な対応についても伺う。

学校現場などでのいじめの現状・実態対応



吉岡 静夫 議員  
いじめの現状・実態対応  
学校現場などでの

教育長答弁

平成23年度の市内小中学校でのいじめの認知件数は19件で、主な内容は「冷やかし」、「からかい」、「無視」、「いやなことをされる」等である。学校では、いじめを発見した場合、教育委員会に報告するとともに、校内いじめ対策委

員会を開催し、全校体制で早期解決に向けて対応している。また、内容によっては、児童相談所などの関係機関との連携を図っている。



柵口温泉センター

質問

権現荘と柵口温泉センターの統合等を提案する理由として、施設の老朽化が挙げられているが、温泉センターは築約20年で、まだ使用が可能だと思われる。温泉センターの存続を求める市民の動きもあるが、市の考えはどうか。

市長答弁

柵口温泉センターは、一定レベルのサービスの提供を維持するためには、ボイラーの入れ

替えなど多額の費用が必要な状況となつている。同じ敷地の中に、老朽化や赤字等の課題を持つ同じような機能の施設が2つあることから、経営改革は避けて通れない状況にあると考えている。

《その他質問項目》

- ・旧姫川病院
- ・市職員などの長期休暇・心身健康管理の現状・実態対応